

「広島こわい映画祭2023」メインビジュアル決定！絵本作家「アルクルミ」さん描き下ろし

1 概要

県立広島大学（学長：森永 力，広島市南区），地域創生学部 矢澤利弘教授の研究室では，学生たちが企画・運営する「広島こわい映画祭2023」を，12月15日（金），16日（土），17日（日）に開催します。広島こわい映画祭では，広い意味での「こわい」をテーマにした映画を募集し，上映することで，広島のこわい映画文化の発展を目指しており，今年で第6回を迎えます。

これに伴い，今年度のメインビジュアルが決定しましたのでお知らせします。なお，現在作品を募集しています。募集要項の詳細は下記をご参照ください。



メインビジュアル©アルクルミ

2 絵本作家「アルクルミ」さん

【コメント】

「不思議の国のアリス」ほど児童文学の枠を超えて，シュルレアリスムの表現の源となり，舞台，映

像、音楽、絵本等々に形を変えて、人々を楽しませた作品は他にはないのではないのでしょうか。アリスは不思議の国でさまざまな冒険をしますが、特に印象に残っている『Drink Me（私を飲んでね）』と記され、飲むと小さくなる魔法の薬が入った小瓶のエピソードからインスピレーションをもらいました。そして、原作にはナンセンスな言葉遊びが含まれる事のオマージュより、瓶に封じ込められたアリスは骸骨になって『Dread Me（私を怖がってね）』と、あなたを「こわい」にお誘いするのです。

【プロフィール】

絵本を総合芸術として捉え、絵付け、シナリオ、製本、読み聞かせに至るまでの幅広い学習を行う東京にある「StuDioえ・ほ・ん」スクール代表。絵本の楽しさ奥深さを伝えるため、絵本の原画展、ワークショップ、読み聞かせ等の様々な活動を行っている。

また、動物保護活動に絵本で参加したく、印税をすべて寄付することをライフワークにしている。

近著：地域猫を主人公にした絵本「さくらみみのおむにゃん」YOMO出版

3 映画祭情報

【概要】

名称：広島こわい映画祭2023

企画・運営：県立広島大学矢澤利弘研究室

テーマ：「ほらー、こわいじゃろ？」

日時：2023年12月15日（金）、12月16日（土）、12月17日（日）

場所：15日（金）コジマホールディングス西区民文化センター（広島市西区横川新町6-1）、16日（土）横川シネマ（広島市西区横川3丁目1-12）、17日（日）（エクスカージョンを予定）

【作品募集要項】

- (1) 45分以内の映像作品であること。
- (2) ホラーに限定せず、広い意味での「こわい」要素を含んだ映像作品であること。
- (3) どなたでもご応募できます。
- (4) 製作年度は問いません。
- (5) 一人何作品でもご応募いただけます。ただし1作品につき1000円エントリー料をいただきます。
- (6) 使用言語は日本語であるか日本語字幕付きであること。
- (7) 実写、CG、アニメーション等、映像の表現方法は問いません。
- (8) 作品の著作権が応募者に帰属していること。

応募締切：2023年8月15日（火）

詳細・エントリーについては、広島こわい映画祭2023ウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト：広島こわい映画祭2023 <https://kowaieigasai.studio.site/>

4 お問い合わせ先

担当：地域創生学部地域創生学科地域産業コース 教授 矢澤

メール：hiroshima.kowai.2023@gmail.com

電話：082-251-9540

県立広島大学 
Prefectural University of Hiroshima

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

広島県公立大学法人 県立広島大学

本部入試・広報課 松井

電話：0882-251-9540